

プロパン産業新聞

2017年(平成29年)3月28日(火曜日)

総合エネルギー企業へ

「タプロスのでんき」販売開始

タプロス(秋田市、木村繁社長)はこのほど、「タプロスのでんき」の申込受付を開始した。

これは、2020年度を見据え策定した中期経営計画「Vision2020」に掲げる「エネルギーから豊かな暮らしのRealizing Companyへ」の取組みの一環だ。

料金メニューは、従量電灯Bの場合、基本料金(30分〜60分)が、東北電力より32・4円〜64・8円程度、お得になるほか、従量料金は使用量が301キワットを超えた場合にメリットの出るプランを設定。

例えば、年間使用量が3000キワットの場合は年7000円だが、6000

つに加えた。まず、LPガスの顧客への提案を開始したが、お客さまの反応は良いようだ。今後は、

天然水宅配(バナジウム天然水)顧客への提案や、さらにLPガスや水とのセット販売も検討している」と話す。

同社の中期経営計画「Vision2020」

では、今期(62期)、発電事業、ココンランドリー

木村社長は「電力販売は、お客様の暮らしをお手伝いする企業でありたい」との経営理念のもと、電気もメニューの1

今回の電気小売事業と併せ、中期経営計画では事業領域の「タプロスのでんき」

タプロスが電気をはじめました。
あなたのお家の電気代が安く
なります。

安く0円

「タプロスのでんき」